

2016. 6. 30

★・・今年度から新たに取り組む、あるいは見直す活動

(1) 若者の再出発のサポート 相談 及び 学習支援

- ・進路変更について、選択肢の提示、学習方法のアドバイス
- ・高校卒業認定試験に向けて学習支援、
- ・高校転学試験および、編入学試験に向けての制度の説明、学習支援、手続き支援
- ・高校再受験へのアドバイス、学習支援
- ・チャレンジスクール受験のための面接・作文指導
- ・高校等入学後のアフターケア、学習支援

○調布学園での学習サポート

①小学6年生を対象とした学習サポート（月1回 土曜日 9時～10時半）

★②中高生自習室でのサポート（第3木曜日 19時～21時）

★③個別サポート（必要に応じて）例）Mちゃんのサポート（週1回 1H 3人のチームで）

○二葉学園での学習サポート（学園から要請があった時に行う）

(2) 相談活動

- ・メールによる相談
- ・相談日の実施（年3回）★今後の会場を福祉センター内会議室で調整する（原則 土曜日14時～16時）

(3) 学習支援ボランティアのバックアップ

・定期試験前学習サポート会場の提供（覚證寺）と運営補助 ★28年度いっぱい行う。29年度より見直し。

・メンバーへの支援 ①交通費（1回 1000円）←★必要に応じて活動費の補助も検討する

②留学生との交流会（奇数月の12日 19時～21時）★会場を福祉センターにする

留学生への謝礼は1回3000円

★「グローバル調布」と連携の方向で

★③留学生交流会の時の軽食補助（参加者1人あたり500円）

(4) サポート基金の活用

・奨学金貸付（無利子） 上限10万円 必要な若者に貸付を行う（★学習支援目的に限定しない）

★必要な資金を補助する（例：お祝いごと補助・養護施設からの自立支度金 他）

*基金活用特別委員会にて審査・検討して実施する（例会での承認を得ることを原則とする）

(5) 例会開催 偶数月と3月の最終木曜日 18時半より

(6) 学習の機会の設定

- ・例会や相談日の中で必要な情報を交換、積極的に学び合う場を設定する。

(7) 資金の調達

- ・サポーターズパーティの開催（4月17日）
- ・桜まつりでの菓子・コーヒー販売（4月3日）

(8) 宣伝活動

- ・ホームページの拡充
- ・リーフレットの発行
 - ①中学校卒業生向けのもの作成。調布市内の全中学校（公立）に配布
 - ②一般向けのもの作成。活動内容の紹介・協力者募集
- ・学習会・講演会への講師派遣
- ・地域イベントなどへの参加（さくらまつり・まち活フェスタなど）

★(9) 調布市子ども若者事業『ここあ』との連携と協力

- ①「ここあ」の活動に協力してゆく
- ②「ここあ」でカバーできない部分に協力してゆく

★(10) こども食堂（覚證寺）との連携と協力

○資金協力 年間30000円

★(11) ニーズをつなく（イベント）活動

- ・おたすけファッションコーディネート（卒業式の式服をネットワークで調達）
- ・必要な品物 調達コーディネート（養護施設を自立する若者へ）
- ・住まいのコーディネート（空き家情報の提供・安い家賃で必要とする若者に紹介できるか）
- ・夜の進路説明会（シングルマザーや困っている保護者に向けて）
- ・若者のための「お金と労働の知識」学習会（手続きの仕方を含む） 他

★(12) 課題の共有と情報の発信

- ・若者と若者を取り巻く実情について積極的に情報を発信してゆく。
- ・課題と願いを多くの人と共有し、実現できることをふやしてゆく。

28年度役割分担

実際にはもっと多くの方が役割を担ってくださっていますが、対外的にも確認しておいた方がよいものに限って確認します。実際には、学習支援ごと、イベントごとの役割分担で活動は進めてゆきます。

（敬称略）

○代表 大町

○会計 ドウマンジュ （オブザーバー）横山 監査 大町

○学習支援窓口 西牧

○ホームページ担当 藤澤

○相談メール担当 大町・西牧・川上・進藤・浅野

○基金活用特別委員 大町・西牧・ドウマンジュ・横山・浅野 と申請者

○連絡担当 浅野